

# ちよぴのI♡銚子

～銚子の魅力を発信するちょ～

## 第4回 あべまさかず 阿部昌和さんの巻

音楽への愛は海より深い



優しくレコードの説明をしてくれる阿部さん

今回、ちよぴが見つけた輝いている人は、双葉町でヴィンテージオーディオの修復を手がけるお店グレイを営む、阿部昌和さん。

洋服屋さんを営んでいた阿部さんが、奥さんのアドバイスもあって、大好きなレコードを取り扱うお店を始めたのは23年前。お店では中古のレコードや年代物のオーディオ機器も販売しているちょ。ちよぴーが邪魔したときは、スイスで修行を積んだ相方の竹内さんと約60年前のレコードプレーヤーを分解、部品を磨く真っ最中だったちょ。これまでには2年がかりで修理した物もあるとか。阿部さんの手に掛ければ、こだわりと愛情がたくさん詰まった極上の逸品に生まれ変わるちょ～。



相方の竹内さん

「言い訳をしなくてもいい仕事をしている」と語る阿部さん。多くの方にレコードならではの音楽を楽しんでほしいという思いでお仕事をしてるちょ。

銚子の海や景色が好きな阿部さん。大好きな音楽と向き合うその姿勢には海よりも大きな愛を感じるちょ～。「レコードやオーディオ機器に興味がある方は大歓迎！」と話す阿部さん。ぜひお店をのぞいてみてちょ～!!

### ■阿部さんのお店■ グレイレコード

双葉町4-1  
☎(25) 1140  
ブログ「銚子の散歩道」  
協力/  
銚子商工会議所青年部



### 東遷が完成したときの利根川



### 千年前の利根川



流れをこんなに変えちゃうなんてビックリ!



銚子の産業を支える利根川  
銚子沖がよい漁場である理由の一つは、利根川から栄養豊富な水が供給されるから。また、江戸時代に銚子で醤油産業が発達した理由は、原材料の運び入れや江戸への醤油の出荷に利根川があり便利だったから。利根川は銚子の産業の発展になくてはならない存在だったのです。

◆途中で流れが変わった?  
江戸時代以前は、東京湾に注いでいた利根川。江戸時代初めに幕府が行った河川改修で太平洋に注ぐ流れに変えられました。これが利根川東遷(とうせん)です。当時の物流や交通手段は船が中心。海と川が交わる場所にある銚子は交易都市として関東屈指の街に発展しました。

◆「銚子」の名前の由来  
利根川の水が狭い河口から太平洋に流れ出る様子が、小さな注ぎ口をもつ酒器「銚子」に似ていたことが地名の由来といわれます。

昔から「坂東太郎(ばんどうらう)」の愛称で親しまれてきた利根川。もちろん利根川も銚子ジオパークの見どころ「ジオサイト」の一つ。

# ジオツアラーにでかけよう!

銚子ジオパーク 問合せ  
銚子ジオパーク推進協議会事務局 ☎(24) 8911

海と川に囲まれ、さまざまな産業を生んだ恵みの地  
流域面積日本一「利根川」

